

授業科目	地域・在宅看護論演習	実務経験	開講時期	単位数	授業形態	時間数
		◎	2年次後期	1単位	講義	30時間
到達目標	1. 地域で暮らす療養者と家族の特徴を捉え、価値観や自己決定を尊重した看護過程を展開する基礎を学ぶ。					講師
	2. 地域で暮らす療養者と家族への指導技術を臨場感を踏まえて実践できる。 3. 地域で暮らす療養者と家族の心身の変化を知り、家族の絆の大切さを感じると共にその人らしく生活するための支援方法を主体的に考える。					専任教員
授業計画						
1回	1. 生活モデルを重視した看護過程の展開 2. 地域で暮らす療養者と家族への指導技術 *1.2.に関するブリーフィング ①学習目標および演習課題 ②進め方 ③事前学習 ④グループ編成等					
2回	地域で暮らす療養者と家族への指導技術 グループワーク ・事例からロールプレイのシナリオ作成 ・必要物品の準備 ・指導案作成					
3回	生活モデルを重視した看護過程の展開 アセスメント①-情報の整理 ①グループ発表(クラスター毎) ②グループ発表毎に全体 DEB ③教員 DEB・補足説明					
4回	生活モデルを重視した看護過程の展開 ①個人指導(分析・仮の診断名) ②グループワーク(発表資料作成)					
5回	生活モデルを重視した看護過程の展開 生活ケア・治療的ケア援助技術 *DVD 視聴					
6~ 7回	生活モデルを重視した看護過程の展開 アセスメント②-分析・仮の診断名 ①グループ発表(クラスター毎) ②グループ発表毎に全体 DEB ③教員補足説明					
8回	生活モデルを重視した看護過程の展開 看護診断・優先順位の決定・関連図 ①グループ発表(指導技術 G) ②グループ発表毎に全体 DEB ③教員補足説明					
9~ 10回	地域で暮らす療養者と家族への指導技術 「ロールプレイを取り入れたシミュレーション」 ・5事例を1グループ毎 SIM と全体 DEB					
11回	生活モデルを重視した看護過程の展開 看護目標設定・看護計画立案 ①グループ発表(指導技術 G) ②グループ発表毎に全体 DEB ③教員補足説明					
12回	地域で暮らす療養者と家族の現状と課題および支援時期・方法の検討 ①「介護負担が招く実情」の実話事例紹介 ②ディベートのブリーフィング					
13回	生活モデルを重視した看護過程の展開 地域・在宅看護における評価の視点					
14~ 15回	地域で暮らす療養者と家族の現状と課題および支援時期・方法の検討 ①ディベート ②まとめ ③レポート					
評価方法	選択肢問題又は論述問題による筆記試験(40%)、看護過程の展開(40%)、レポート(10%)、指導案作成(10%)を総合して評価する					
教科書	系統別看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の基盤 医学書院 系統別看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の実践 医学書院					
参考書	ナーシンググラフィカ 地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア ナーシンググラフィカ 地域・在宅看護論② 地域療養を支える技術					
備考	1.各看護学の看護過程、地域・在宅療養を支える看護Ⅲ、倫理学の講義・演習内容の復習をすること 2.事前・事後課題を教科書・講義内容・配布資料より予習・復習をすること。 3.個人・グループワークでの課題学習に取り組み、発表準備に備えること。					